

第1回 北九州市営バス事業あり方検討会議 会議録（要旨）

1 開催日時 令和元年7月30日（火）9時～10時30分

2 開催場所 北九州市役所本庁舎5階 特別会議室A（北九州市城内1-1）

3 出席者

【構 成 員】 50音順 敬称略

内田構成員、太田構成員、菊池構成員、嶋田構成員、白川構成員、末吉構成員
鈴木構成員、平野構成員、安井構成員（欠席：小山田構成員）

【オブザーバー】

九州運輸局福岡運輸支局 首席運輸企画専門官 永松 靖二
総務局 行政経営部長、財政局 財務部長、保健福祉局 障害福祉部長
建築都市局 計画部長、若松区役所 区次長

【事 務 局】

北九州市交通局長、局次長、総務経営課長、営業推進課長

4 議 題

- ・北九州市営バスの事業概要
- ・第2次北九州市営バス事業経営計画の概要
- ・第2次北九州市営バス事業経営計画の取組状況
- ・市営バスを取り巻く現状と課題

5 主な発言内容

（1）乗合バス事業について

■ 路線について

- 観光地である門司港方面へ路線を拡大してはどうか。
- 民間バス事業者の不採算路線が廃止になると、市に路線維持の負担が回ってくるのではないか。
- 門司港など民間バス事業者の運行エリアに市営バスが乗り入れると、逆に市営バスの採算性がいい運行エリアに民間バス事業者が乗り入れる可能性がある。そういったプラス面、マイナス面があるため、できること・できないことをきちんと整理する必要があると思う。

- 学研地区など大きな団地ができている中に市営バスが乗り入れてはどうか。団地には高齢者が多いため、高齢者をターゲットとした、病院や商業施設を回るバスを運行してはどうか。

■乗車券について

- なぜ、ふれあい定期（販売数）が減少しているのか。
（回答）70 歳以上の方でも、自家用車に乗られており、買い物や通院に自家用車を利用する高齢者が増えているのではないかと考えている。
- 高齢者向けの割引制度はあるが、佐賀市の高校生割引のように若者向けの割引も検討してはどうか。
- 他社と相互利用できる IC カードを導入すれば市営バスが乗り易くなると思う。

■バス車両について

- 若松北西部など乗客が少ない路線はバスを小型化すればいいと思う。
- 乗合路線において、中型バスで運行している路線はあるのか。
（回答）主に八幡西区の日吉台を運行している。
- 電気バス 2 台を平成 30 年度末に廃止した理由は何か。
（回答）民間会社が購入した電気バスを交通局に 5 年間貸与されたもので、平成 30 年度末で貸与期間が満了したこと、また車両が外国製であったことで、稼働率が極めて低かったこともあり、民間会社に返却を行っている。

■バス停留所について

- バスを待つ時間が長くなったが、バス停にベンチや屋根がない。バスを気持ちよく待つために待合環境を整備することがバスの利用促進につながると思う。
- 京都市では、駅で学生が勉強してバスを待てるスペースがある。バスの待合所などの環境整備で若者の利用促進にもつながるのではないか。

■その他

- 独立採算性の問題をどう捉えるのか。公営事業なので、乗合バス事業における赤字の路線が直ちにダメというわけではないと思う。
- 出前講座の効果は現れているのか。
（回答）毎年 2~3%程度乗客が減少している中で、なかなか目に見える形での効果は実感しにくい。しかし、自治会の皆様に少しでも乗っていただ

くことで、下げ止まりという部分での効果は一定程度あるのではない
かと思い、実施している。

- 乗車率や収支率などの採算ラインを設定し、運行に関する取り決めを行うトリ
ガー方式の対応を含めて検討してはどうか。
- 福祉優待乗車証制度について、福祉施策としてやっているのであれば、一般会
計で実施すればいいのではないか。

(2) 附帯事業について

- 貸切事業の収益拡大のため、自治会等へ営業してはどうか。
- 乗合バス事業の赤字を附帯事業でカバーしていく中で、同業他社と競合してい
かないといけない部分がどうしてもでてくる。
- もっと民間バス事業者と競争すればいいと思う。

(3) 運転者の確保について

- 正規の運転者の年齢構成をみると 20・30 代が少ないが何か理由があるのか。
(回答) 過去に正規の運転者の採用を中断するなど人員を少しずつ絞ってきた経
緯がある。また、近年では新しく採用する人数を絞っていること、そも
そも大型二種免許を取得する方が現状少ないこともあり、若い方の応募
がないことが理由として挙げられる。
- 嘱託運転者がかなり多いが、正規と嘱託の運転者では、人件費にかなり違いが
あるのか。人材確保という点では、正規職員の方が確保しやすいと思う。
(回答) 嘱託の運転者のほうが正規の運転者よりも、人件費は低くなっている。
- 運転者の労働環境を改善することが運転者の確保にも繋がっていくのではない
か。
- 休憩室の設備など女性が働きやすい環境を整備することで、運転者の確保がで
きるのではないか。

6 その他 傍聴者 3 名

7 問い合わせ先 交通局総務経営課経営企画係

電話番号 093-771-8401